

特集 議会×須恵町シニアクラブ連合会 座談会

(愛称：若杉クラブ)

元気はつらつ

シニアクラブの声を聴きました

シニアクラブは、地域を基盤とした高齢者が自主的に集まって活動する組織です。仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行います。

その知識や経験を生かして、地域の諸団体と共同し、地域を豊かにする社会活動に取り組み、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上を目指し、活動に取り組んでいます。



松山 力弥 議長



田ノ上 真 議員



今村 桂子 議員



三角 栄重 議員



稲永 辰己 議員



令和3年11月8日対談

フレイル(虚弱)予防 と社会的孤立化の防止

コロナワクチン接種については、会員宅を1軒ずつ訪問し、かかりつけ医を聞き、予約などのアドバイスを行いました。ノミネーションが一番楽しいです。

副会長(女性部長兼務)
辻 桂子 さん

シニアクラブに入会して、人との付き合いが増えました。旅行が好きなので、春・秋・新年のシニアクラブ会員の旅行が楽しみです。

会長
國崎 猛 さん

広報すえ(若杉クラブだより)に掲載していただき、入会希望の連絡が社会福祉協議会に来るようになり、嬉しいです。これからも、シニアクラブについて発信し、会員増につなげていきたいです。

副会長(事務局長兼務)
藤 英寿 さん

私の住んでいる地区『若草会』の例会(2カ月に1回)では、弁当・みそ汁を食べながら、交流しています。お酒を飲みながら、カラオケで歌ったりして、11時から13時半まで楽しいひと時を過ごしています。

総務
白水 勝元 さん

歴史は?

須恵町シニアクラブ連合会のあゆみを教えてください

シニアクラブ
昭和38年7月須恵町老人クラブ連合会として福岡県に届け出て発足しました。発足して57年目となります。

シニアクラブ
吉松ひろし先生が『若杉クラブ』の愛称をつけられました。

老人クラブからシニアクラブに変更されたのはいつですか

シニアクラブ
3年前の令和元年4月、笹原会長の時にシニアクラブに名称を変えました。

組織の体制は?

入会の年齢、会員数は何人ですか
シニアクラブ

入会年齢は、65歳からですが、希望者は60歳前後から入会できます。新入会者は、昨年は62人、今年は42人です。令和3年4月時点で、会員数は1132人となっています。男性486人、女性646人です。

組織の体制はどうなっていますか

シニアクラブ
執行部は会長含め5人です。広報部会・教養部会・健康推進部会・研修部会・女性部の5つの部会をそれぞれ5人の理事が担当しています。各地域ごとに支部(単位組合)が24あります。

活動の目的は?

どのような目的をもって活動していますか

シニアクラブ

- 余生を楽しむ
- 孤独な高齢者を作らない
- 高齢者自身で高齢者の福祉を支える(寄り添う、向こう3軒両隣、見守り運動)
- 高齢者の防災(地域の防災と一緒に活動する)
- 地域福祉に力を入れて協力する。

などの目的をもって、みんなで協力しながら楽しく活動しています。

活動内容は?

活動内容はどのようなものですか

シニアクラブ

- 広報部会では、「老倶たより」の広報誌を発行しています。
- 教養部会では、「高齢者学級・会員の集い」を計画し、実施しています。
- 健康推進部会では、健康づくりを計画し、実施しています。
- 研修部会では、研修旅行や初詣を計画し、実施しています。
- 女性部は、愛の一声運動の推進、高齢者相互支援活動の推進、1円玉募金活動の推進、その他研修や施設などの社会見学を実施しています。

高齢者に寄り添った見守り活動は、福岡県老人クラブ連合会から高い評価を受けています。

24の支部の活動について教えてください

シニアクラブ
それぞれの支部に愛称があり、地域に根ざしたさまざまな活動をしています。コーラスやフラダンス、カラオケなど、趣味を活かしたクラブ活動もあります。

シニアクラブ
会員全体では、4月に総会を行い、研修旅行や新春初詣で親睦を深めています。

課題は?

課題はありますか

シニアクラブ
会員の増員と役員のなり手がいないのが課題です。平均年齢も80前後と高くなり、若返りを図ることが必要です。魅力を伝え、若い人にも入ってもらおう工夫が大事だと思います。コロナ禍の活動も課題ですが、「感染防止」と「健康維持」を両立させ、会員の「居場所づくり」および「出番づくり」に積極的に取り組んでいます。

豊かで活力あるシニア期を

高齢者が人口の4人に1人を占め、人生100年時代を迎えた今日、シニアクラブの活動に対する社会的な期待は、ますます大きくなっています。須恵町における65歳以上は約7500人で、そのうちの7人に1人の1132人がシニアクラブの会員になって活動されています。シニア期を楽しく、生きがいをもって安心して暮らしていくために、健康で自立し、身近な仲間と支え合いながら、住みよい地域づくりを進めていきたいものです。

※対談中は、撮影時のみマスクを外してもらいました。